

～ SPH 5年目の新たな取り組みによる深い学び ～

斬新な教育カリキュラム紹介 (専攻科創造工学科)

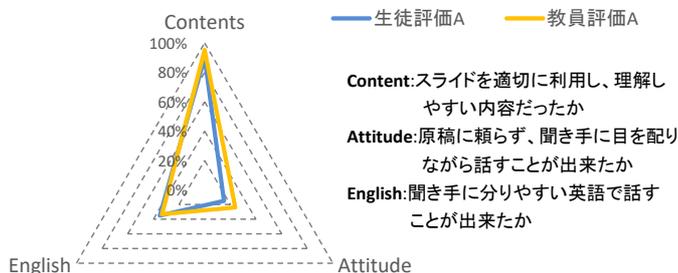
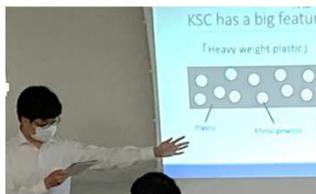
11の甲府工業スキル(TECH-Aスキル)の深化

- ①課題発見力 ②論理的思考力 ③課題解決力 ④知識力 ⑤実践的技術力
⑥外国語活用力 ⑦創造力 ⑩主体性 ⑪発信力

楽しみながら使いこなす

実践英語Ⅱ(2年生)

題材から説明内容まで学生自身が考え、英語でプレゼンする(グループ・個人)取り組みを行っています。各自の興味・関心のある事柄から他の学生に知ってもらいたい事を発表し、聞き応えのある楽しい時間となりました。下は、実施後における学生同士による評価と、指導教員による評価です。内容の表現は出来たが、聞き手に目を配りながらパフォーマンスし、分かりやすい英語で伝えることは難しいと感じる結果でした。



出でよ! 山梨の起爆剤!

地方創生概論(2年生)

山梨県の特性に即した課題解決を図る事を具体的に考える科目です。県内在住の全国に名を轟かせるイノベーションを起こした起業家をゲストとして招いてプレゼンを聞いたり、マイコンを使ったプロトタイプングツールを使って身近な課題を発見・解決するワークショップを行ったりと、毎回エキサイティングな授業が展開され学生達は大いに楽しんでいます。

現在は各自が山梨県内における課題を発見し、それを解決するためのビジネスプランの構築を行っています。工業だけではなく、農業・食品・医療・観光等幅広い視点で考え、時にはディスカッションしながら、ブラッシュアップしていきます。

こうした取り組みは将来、就職先の会社での、企業内起業や新規事業立ち上げ等の場面で大いに役立つものと確信します。山梨から全国へ、そして世界へ。イノベーションの胎動が教室から感じられます。



恐れることなく飛び込め!
いざ、ニューノーマルの海原へ!

先端技術実習(2年生 機械系コース)

数値制御機器「CNC旋盤」における実習では、企業と連携し「遠隔操作実習」を行いました。コロナ禍での実社会において、訪問や人との対面が制限される中、このような遠隔で対応する実践力を身に付けるための実習でもあります。



学生はVRグラスを装着し、遠隔地にある工場より指示されることを学校で実行し、先端技術の実体を体感しました。このような体験を通して、新たな角度から物事を考えることにより、より柔軟な発想が可能となります。知識力として貴重な引き出しとなり、課題発見力や課題解決力に寄与するでしょう。



学生達は知ってしまった・・・
アイデア生み出すテクニク!

創造特許学(2年生)

発明工作授業「ペーパータワー」(演習)

創造特許学は、知的財産に関する法律やアイデア出しのテクニックや、新企画・新製品の発想などについて学びます。今回の授業(演習)では、おもりの重量に耐えることのできる紙のタワー(発明品)を作り、その高さを競いました。グループでコミュニケーションを取りながら、限られた材料(ペーパー)と時間の中、主体的に考え、試行錯誤しながら課題を解決する過程や、創意工夫したアイデアを生み出す体験を通じて、知的財産権によるアイデア保護の重要性を理解しました。

